

テーマ

三笠はひとつ 三笠はならのまほろば

目標

伝統や文化・誇りを再確認し、新たな郷土愛や誇りを育む

今年度の取組紹介

○子ども未来会議

第7回子ども未来会議では『自分を見つめなおそう ～時を守り、場を清め、礼を正す～』をテーマに開催しました。各校で前もって学習してきた「時・場・礼」を中学生も含めて交流しました。地域の方が司会進行やまとめ役を行い和やかな雰囲気でした。校区の小学生・中学生・大人が自分たちの未来を一緒に考える良い機会となりました。



○なら三笠まほろば文化祭

幼稚園・小学校・中学校・地域の文化交流会を開催しました。日頃の練習の成果を存分に発揮し、客席からは拍手や声援が送られ大好評で、子どもたちは素晴らしい出会いと感動を感じることができました。また、当日の司会や、裏方としての運営にも地域の方と中学生が「協働」で行い、大きな達成感を味わえるイベントとなりました。



今年度のまとめ

今年度も、ドッジボール大会により小学校間の交流を深めたり、校区内の幼小中で「ノーメディアデー」キャンペーンや大切な人に贈る「一文字」の取組を実施し、各家庭への働きかけを行ったり、未来会議を通じて、大人と意見交流をして自分の考えを伝えたり、100年会館の大ホールで日頃練習してきた成果を披露したり、様々な視点で地域の子どもたちへの取組を進めていくことができました。各事業とも回を重ね、コーディネーターの動きもスムーズに行われています。さらに運営も小学校校区ごとに持ち回り、各々スキルアップしています。今年度も、校区内の教職員と地域の合同研修の実施など教職員の意識改革を推進していく取組も行いました。これらの事業や日々の活動を三笠中学校のHPで公開し、取組の総括(アンケート結果)なども掲載して、広く情報公開に努めました。

来年度に向けて

今後、これまで取り組んできた7年間の軌道を修正しつつ推進していきます。具体的には、各事業内容をさらに魅力あるものとするため工夫や精選をすると同時に、活動目標に照らし合わせ各事業を共に作っていくという参加者の協働意識を育めるよう取り組んでいきます。また、地域の方も各種団体の委員を兼ねている方が多く、教職員の人事異動も考えると関わる人材の裾野を広げ、幅広い方々に関わっていただけるよう展開していく必要があります。各事業の継承、運営する人材の確保という観点からも、これからの取組の情報発信により力をいれ、さらに地域と共にある学校づくりに努めていきます。

テーマ

地域コミュニティ形成と絆づくり

目標

保護者・地域と連携し特色ある学校・地域づくりを協働する。

今年度の取組紹介

本校は地域教育協議会を『コミュニティ・スクール』の実働組織として位置づけ「学び支援」「育ち支援」「地域連携」「学校評価」の四つの部会を組織しています。部会は、学校の教育目標を学校・家庭・地域で共有し、組織的・機能的に運営していくことで職員、保護者、地域の協働意識を高めるとともに、生徒の抱かえている課題をそれぞれの立場で把握し、具体的な活動に取り組み、課題の解決に努めています。教員が子どもと向き合う時間確保のため、図書ボランティア、放課後や土曜日などの課外授業から、キャリア教育や防災学習など教育課程内にも支援を広げています。さまざまな実社会での経験を持つ大人が工夫をこらした授業を展開することにより、子どもだけでなく教員も課題解決力の向上や、明確な教員としての目的意識・責任感を養うことにつながっています。また、防災訓練や地域まつり・清掃活動に参加し、地域の方々との活動を通して、社会性やコミュニケーション能力を育み「生きる力」を培ってきています。特に高校受検に向け面接の練習として、企業勤務経験者などの地域住民が面接官となり、高校進学だけでなく勤労観・職業観を養い社会自立をしていくことに対する目的意識を持たせることにつながっています。5回目となるスポーツフェスティバルも地域・小中教員の交流を深め、地域住民・小中PTAネットワークを高め、地域プライドの醸成を図りました。



今年度のまとめ

全教職員が小学校区に分かれた「地区担任」の組織化を図ることで教職員の意識が高揚してきました。また、地域人材の依頼と調整や家庭・地域・関係機関団体との情報連携のネットワーク化の充実・強化にもつながりました。地域では、「地域の子どもに対する関心が深まった。」「中学生が将来地域の担い手となってくれる頼もしい存在と思えるようになった。」「来年も地域に貢献したい。」などの声が上がり、学校行事に対しても保護者だけでなく地域住民、地域団体も積極的に参加するようになりました。

来年度に向けて

これまでの組織や活動内容を大きく変えることなく、その力を学校づくりと地域コミュニティづくりの一つになるようにできたらと考えています。そして、学校・地域や子どもたちのために活動することを通して『学校・地域 みんなが育つ』ための核となる組織づくりを目標にさらに模索していきます。

テーマ

世界にはばたく 世界で生きる 椿井っ子

目標

地域の教育力を活かし、特色ある教育活動を創造する。**【今年度の取組紹介】**

奈良市の中心部に位置、多くの社寺や観光名所が校区内にある本校は、長い歴史と伝統を有する学校であり、地域の方は愛校心が強く、また、学校教育に対する関心も高いです。そのため、何事にも協力的です。こういった素晴らしい環境や地域の教育力を生かし、自分たちのまちに誇りをもつとともに、積極的に活動し、表現や発信のできる児童の育成をめざして取組を進めました。

活動としては、大きく次の5つの活動を行いました。

「ようこそ地域の名人さん」では、運営委員会委員及び地域の方を介して、さまざまなジャンルの人たちをゲストティーチャーに招き、多様な活動を行うことができました。例えば「昔遊び名人」では、地域在住の高齢者が昔遊びを子ども達に教えていただき、交流を行うことができました。また、本校が進める特色ある教育の具現化として、「手話交流会」については、継続的に取り組むことができ、学校単体では難しい成果を得ることができました。

「地域の行事に参加しよう」においても、実際に学校が避難所となった場合、PTAが何ができるかを考えたことをきっかけに始まった「のっぺ汁」では、炊き出しの訓練だけでなく、地域の伝統食を実際に体験する貴重な機会となっています。



「奈良のよさを知ろう・伝えよう」では、校区の特長を活かして、地域遺産や伝統文化に出会うことができました。南都楽所の方々による「雅楽鑑賞」は、本物に出会う良い機会となり、自分達の住むまちの素晴らしさを実感することができました。

「命の学習」では、赤ちゃんの誕生について学び、たった一つしかない命について家族の人の思いとともに学ぶことができました。他にも、視覚障害者の方との交流を行う「見えないってどんなこと」など、子ども達なりに共生していくことを考え、自らの生き方につなげることができました。

「学校の環境を整えよう」では、鉢やプランターの整備、学校図書館の整備など、地域の方とともに学習環境を整えることができました。

【今年度のまとめ】

本事業をとおして、地域の方とともに多様な教育活動を展開することができました。子ども達が、多くの人たちとの関わりから、自分達の住んでいる地域の素晴らしさを再発見することができました。また、学習や交流を通して、一つ一つの事象や歴史に、その時々関わった人の思いがあることに多くの子ども達が気付くことができました。環境整備活動においても、自分達の学校や地域を大切に思う大人の存在に子ども達は改めて気付き、感謝する気持ちを育てることができました。

【来年度に向けて】

本年度の成果をふまえ、継続して行う事業は工夫し、子ども達にとってよりよい内容のものを考えていきたいです。また、地域の「いつでも協力をする」という声もあります。外部人材の活用も含め、本校の教育目標の達成を図れるようにしていきたいです。

事業名

夢を持ち、夢を語り、夢を叶える**たくましい子どもを育てる大宮アクション**

目 標

- ・地域の中で、さまざまな役割やその大切さ、自分の存在感に気付き、未来への夢や希望を持つ心を育てる。
- ・学校、家庭、地域での豊かな体験を通して、正しい判断力を養い、自己の生き方について考えを深め、自ら進んで実践できる力や態度を育てる。

今年度の取組紹介

<大宮まつり

キッザニア in 大宮まつり>

- ・「子ども盆踊り」を楽しむ地域の方とともに遊ぶ、模擬店で買い物をする、模擬店の手伝いをする等、計画を含め、祭りに参加・参画することで、地域の人たちと触れ合い、体験を通して自ら進んで実践できる力を培いました。

<ふれあい昼食会>

- ・地域の高齢者を招いて、6年生と共に話をする、発表会をする、カレーを食べるなどして、交流を図りました。

<キッザニア in

もちつき大会>

- ・今年度のもちつき大会は延期となりましたが、児童が模擬店作りの計画・準備を行い、地域の方々と共に体育館で店員となり、店の経営を体験しました。



<長なわ大会>

- ・3分間で大縄を何回飛べるかを競うクラス対抗戦。チームワークの獲得を主眼として取り組み、向上心を育てることに繋がりました。

<健康かけ足>

- ・一人一人が自分の目標を決めて、自分の限界に挑戦し、乗り越えることで、できなかったことができるようになる喜びを味わうことに繋がりました。

<おはなしの会>

- ・学期に一回、すべてのクラスで「おはなしの会」の方に読み聞かせをしてもらうことで、情緒が安定し、豊かな気持ちが育つことに繋がりました。

<ガンバ読書>

- ・週2回、朝10分間全校一斉の読書タイム。豊かな心、優しい気持ちが育ちました。

<人権教育講演会>

- ・地域の方々と一緒に人権について考え、人権意識を高めること目指しました。

<図書ボランティア>

- ・図書室の環境を整えたり、図書の修理をしたりして、読書環境を整えることにご協力いただきました。

<学校園応援サポーター>

- ・2年生の地域の名人さんに学ぶ学習・戦争・昔の大宮の様子・見守りなど、児童の学習の支援を行っていただきました。

今年度のまとめ

- ・地域の方々との交流や協働を通して、多くの人とのつながりの中で生きているということに気付き、大宮を誇りに思い、大宮小で学んで良かったと思える児童が増えてきています。また、地域主体のキャリア教育である「キッザニア in 大宮まつり」等を通して、自分もこの大宮の地域の一員であることを自覚するとともに、自ら考え、行動する児童の育ちが現れてきています。
- ・高齢者の方々とのふれあいを通して、地域の方に喜んでもらえることは自分の幸せにつながるということに気付き、地域のためにできることを考えていこうとする意識が醸成されつつあります。

来年度に向けて

- ・児童がアイディアを発信し、企画などに参加・参画していく活動を地域の方々と協働で一層充実させ、自分たちができることを考え、行動できる児童の育成を図りたい。
- ・今後さらに地域の方と一緒に活動する場面を多くし、大宮を誇りに思い、大宮小で学んで良かったと思える児童を増やす取組を行っていききたい。

テーマ 地域で学び 地域と共に育ち 地域に働きかける大西っ子**目標 「わたし大好き あなた大好き 学校大好き わが町大好き」
と思える自尊感情をもつ児童の育成**

今年度の取組紹介

校区を流れる佐保川・自然環境をテーマにした学習に継続的に取り組んでいます。3年生の佐保川の環境学習に地域の方を講師としてお招きし、自らが住む地域の川としての視点からのお話を聞く取組も定着しつつあり、自分たちの地域環境を自分たちで守る意識につなげていきたいと考えています。5年生では森林学習を通し、森林と河川をめぐる環境学習を深めています。

2年前に完成したビオトープに水の循環の補修を施し、再度ホタルの幼虫を放流しましたが、人工的環境での飼育は難しく、成虫まで育ちませんでした。今後ビオトープはメダカや微生物等の水生生物の観察に使用していく予定です。

11月実施の「川辺のまちづくり」オープニングイベントでは、本年も大勢の地域の方の前で6年生が雅楽や合唱を披露しました。南都楽所の講師先生・音楽科教員の指導の下、毎年自主的な児童による下学年への指導の流れができ、本校の伝統となっています。

同日行われた佐保川清掃には、日頃の学習や様々な機会を利用しての呼びかけの効果があり、保護者・児童の参加がかなり増えてきました。



た。さらに講師を招いての川辺の学習会には100名を超える子どもたちが参加し、保護者・地域の方とともに魚や水辺の生き物を捕獲し観察しました。外来種の生物がいるものの、10種を超える多様な生物が生息している佐保川の環境は素晴らしいと講師先生にほめていただき、参加者一同、とてもうれしく思いました。佐保川環境保全の取組には近年高齢化が進んでいましたが、保護者・児童の意識が高まり地域・学校・家庭が一体となった取組がさらに一歩前進しました。

今年度のまとめ

豊富な行事に学年間で参加体制を調整し、地域の環境保全の取組や行事を各学年の教育課程に効果的に組み込んで実施できました。美しい佐保川の川辺で四季を通じて集えるのは、日頃の様々な取組があつてのことという保護者・児童の意識の広がりを定着させていきたいと考えています。

また、一年を通してクラブ活動・体験学習・読書活動・実技指導支援等幅広い内容で地域の方々に協力していただき、充実した学習活動が展開できました。第4回目を迎えた校区成人式では対象者の6割強の参加があり、地域の方とともに和やかなひとときを過ごしました。

来年度に向けて

昨年度に引き続き、学校や地域で元気な挨拶をする等、内面の成長に目を向けた取組の必要性を感じます。各取組を形骸化させず児童の成長に寄与するものにするため、さらに定着させていく内容と見直しが必要な内容を見極め、学校・地域・家庭の共通理解のもと組織整備とともに取組の改善をすすめていきたいです。また、継続して人材の発掘も必要です。

テーマ **佐保川小の校区を愛し、校区に誇りをもつ子の育成**

目標 **地域にある自然環境や文化的歴史遺産、さらには、地域の豊かな人材を活用しながら、心豊かで人や物にやさしく、地域を愛する子どもを育む。**

今年度の取組紹介

①佐保川清掃

本校児童と教職員、地域の各種団体から合計300人以上が参加して、5月21日（土）に佐保川のゴミ拾いや草刈りを行いました。佐保川の環境を守る活動として、地域の方々と協働で取り組む佐保川清掃は、生きた学習環境を提供してくれる佐保川をみんなで大切にする心を育みます。そして、地域の方々とこの気持ちをつなげる大切な取組でもあります。



②とんど焼き



児童支援団体「チェリーネット」と自治会の方々、そしてPTAの皆さんの協力で、今年も1月16日（月）に学校の行事として、とんど焼きを行うことができました。行事のお知らせから竹の切り出し、わらの手配、竹組み、正月飾りの処理など、様々な準備をしていただき、全校児童が見ている中、大きな炎が燃え上がりました。初めて竹のはぜる音を聞いた子どもたちは、その音にも驚いていました。地域行事を学校行事として行うことで、子どもたちと地域の協力者との距離もぐっと縮まりました。

今年度のまとめ

今年度も、地域と学校との繋がりが見える形となるよう行事や事業を進めてきました。登校時の見守り活動を始め、平城宮跡でのマラソン大会における安全確保のための引率、昔遊び体験時のお手伝いなどを通して、子どもたちがより身近に地域の方々と接し、感謝の気持ちを育てる取組として進めることができました。

来年度に向けて

子どもたちの学習活動や学校行事は、地域の方々からの多くの支援のおかげで成り立っている。今後も、コミュニティスクールとして、また小中一貫教育を推進する学校として、地域の各種団体や自治会などとの連携を密にし、佐保川小学校の校区を愛し、校区に誇りをもつ子を育ててきたい。

テーマ

育ち合おう！感動いっぱい幼稚園

目標

- 楽しみながら体を動かしたり、集団で遊んだりする機会を多く持ち、体力や運動能力の向上を目指す。
- 英語活動を取り入れ、興味を持って遊んだり話したりして英語に親しむ。
- 身近な世界遺産に触れたり自分の住む地域を知ったりして大切にしようとする気持ちを持つ。
- 地域の環境や人材を活かしながら幼児のコミュニケーション力の向上を目指す。

今年度の取組紹介

- 体力向上を目指す中で、「げんきっこクラブ」で地域のゲストティーチャーの方と一緒に、鬼ごっこやボールを使ったゲーム遊び、サッカーなどを存分に楽しみました。そこでの楽しい経験から、子どもたちは日々の遊びの中でも自ら体を動かし、意欲的に取組んだり挑戦したりと体を動かす喜びを感じられるようになってきています。
- 園外保育で小学校や中学校、佐保川周辺、奈良公園へと子どもの発達と時期を考慮し出かけ、身近な自分の住む地域を知りながら歩くことで、運動の機会を取り入れました。学校園応援サポートの方が安全面に配慮し、子どもたちへ声をかけながら引率に加わってくださり安心して出かけることができました。子どもたちも地域の方々へ親しみをもち言葉を交わしていました。
- 「イングリッシュで遊ぼう」では、英語に親しむというねらいを持ち、簡単な挨拶を交わしたり、歌を歌ったり、手遊びしたりと体を動かしながら英語にふれ、子どもたちも楽しく活動に参加していました。



今年度のまとめ

- 「げんきっこクラブ」の取組では、この事業を楽しみに待つ子どもの声も聞かれ、運動遊びへの意欲的な姿が見られています。さらに自ら心と体を動かして意欲的に遊ぶ子どもを育てるために、日頃の遊びの中での魅力ある環境づくりを探っていききたいと思います。
- 様々な活動を通して、地域の方の協力やつながり、温かな見守りなどを感じています。子どもたちは地域の方々の温かいふれあいや声がけに、安心感を抱き、自分からも挨拶をしようとするなど人とかかわる豊かな心を育んでいます。
- 保護者からは、地域の方とかかわるこれらの取組に安心され喜ぶ声が聞かれています。さらに活動内容を工夫した取組を継続していくことで、子どもや保護者にも地域の方に見守られているという安心感につながると感じました。

来年度に向けて

- 本年度の成果を踏まえ、地域の教育力をいかしながら、子どもたちの発達や興味、時期などを考慮して、豊かな感性やたくましい体を育むために更なる活動の充実を目指していききたいと思います。保護者、地域には活動内容の理解を得るために、子どもの育ちと共に取組の情報発信を行いながら、子ども、保護者、地域が一体となり育ち合っていけるような取組を進めていきたいと思います。

テーマ

わたし大好き あなた大好き 幼稚園大好き わが町大好き 大西っ子

目標

- ・ 様々な環境と触れ合い心を動かす感動体験を通して豊かな感性やたくましい心と体を育む。
- ・ 地域の人材を活かした活動の充実を図る。

今年度の取組紹介

○「お話の会」では、地域の『読ボラ隊』の方々に定期的に来ていただくことで、楽しみに待つ声が聞かれました。素話や絵本の読み聞かせ、手遊び、人形劇等様々な手法でお話をさせていただき、子どもたちはお話の世界に引き込まれ想像する楽しさを味わいました。

○地域の方々と共に取り組んだ栽培活動では、畑の畝作りから種まきや苗植え、施肥や草引き等一緒にしていただき、また成長を気にかけて立ち寄ってくださる方が増え、地域の方々のやさしい思いに子どもたちも親しみを感じ、手紙を書いたり収穫したり、共に食する喜びを味わったりしました。「昔遊びの会」では地域の方々のこま回しや折り紙等の巧みな技に感動し、憧れの気持ちにつながりました。

地域の方々が持っておられる教育力を子どもたちに伝えていただいたことで、子どもたちは様々な経験を積み重ね、地域の方々との深いつながりの中で心豊かでたくましく成長していくことができました。



今年度のまとめ

地域の方々との触れ合いは、子どもたちの経験に広がりが見られ、感謝の気持ちを持ち、人と関わる力が育ちました。温かい言葉をいつもかけていただくことで子どもたちの自信や意欲、人にやさしくできる気持ちにつながりました。園だよりやホームページ、地域の会合で園の取組を知らせたことや、地域の行事に参加し子どもたちの成長している姿を見ていただいたことが、より地域の方々に園の取組に関心をもって関わっていただくようになったと考えます。取組に対しては保護者からも高評価を頂いており継続を望まれていますので、内容をさらに深く工夫して進めていきたいと考えます。

来年度に向けて

地域の特色を生かした“地域とともにある幼稚園”を目指して地域の方々の意見も取り入れながら園運営を考えていきたいです。地域を、また奈良を大好きと思える子どもたちに育てるため、地域へ出向く機会を多くし、地域の自然や施設などの地域資源を積極的に活用していきたいです。地域の教育力も活かした保育内容をカリキュラムに取り入れていきたいと考えます。